

製品名: Ran ウサギポリクローナル抗体

カタログ番号: APRab16880

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	25kDa

抗原情報

遺伝子名	RAN
別名	RAN; ARA24; OK/SW-cl.81; GTP-binding nuclear protein Ran; Androgen receptor-associated protein 24; GTPase Ran; Ras-like protein TC4; Ras-related nuclear protein
遺伝子 ID	5901.0
SwissProt ID	P62826
免疫原	抗血清はヒト RAN 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 167-216

背景

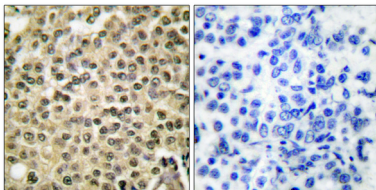
RAN (ras 関連核タンパク質) は、RAS スーパーファミリーに属する小さな GTP 結合タンパク質で、核膜孔複合体を通る RNA とタン

パク質の輸送に不可欠です。RAN タンパク質は、DNA 合成と細胞周期の進行の制御にも関与しています。RAN が核に局在するには、染色体凝縮調節因子 1 (RCC1) の存在が必要です。RAN の変異は DNA 合成を阻害します。RAN は多くの機能を持つため、他のいくつかのタンパク質と相互作用する可能性があります。RAN は、核と細胞質間の高分子の交換における役割とは独立して、微小管ネットワークの形成と組織化を制御します。RAN は、有糸分裂中の微小管重合を制御する重要なシグナル伝達分子である可能性があります。RCC1 は、クロマチンの周囲に RAN-GTP の局所的な高濃度を生成し、それが今度は微小管の局所的な核形成を誘導します。RAN はアンドロゲン再機能です: AR を介したトランス活性化を促進します。AR 内のポリ Gln 長が増加するにつれて、トランス活性化は減少する。機能:核-細胞質輸送に関与する GTP 結合タンパク質。タンパク質の核内への輸入と RNA の輸出に必要。クロマチン凝縮と細胞周期の制御に関与。PTM:N 末端がブロックされている。類似性:低分子 GTPase スーパーファミリーに属する。Ran ファミリー。細胞内局在:有糸分裂中に細胞質全体に分散する。質量分析により、ステージ I からステージ IV までのメラノソーム画分で同定される。サブユニット:モノマー。また、CHC1 と複合体を形成し、AR の N 末端ポリ Gln 領域と相互作用する。AR との相互作用は、ポリ Gln 長と逆相関する。RANBP9、Ran、DYRK1B、および COPS5 からなる複合体の一部。RANBP3 および XPO1 との核輸出複合体に見られる。KPNB1、Ran、SNUPN、XPO1 からなる核外輸送受容体複合体の構成要素。SNUPN、Ran、XPO1 とともに三量体輸送複合体を形成し、RANBP10 と相互作用する。HIV-1 感染時には、HIV-1 Rev、Rev 応答配列 (RRE) を含む RNA、および XPO1 との複合体を形成する。HTLV-1 Rex、RANBP3、XPO1 との複合体を形成する。組織特異性: 様々な組織で発現する。

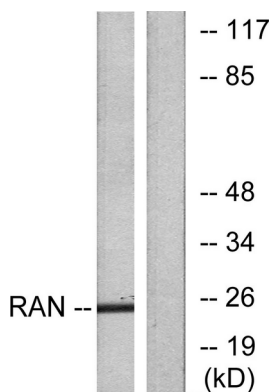
研究分野

細胞生物学

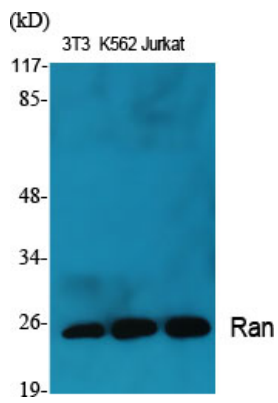
画像データ



RAN 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。



RAN 抗体を用いた LOVO 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンには合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 2000 に希釈した Ran ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析